

令和6年度 女性医師支援・ドクターバンク連携
関東甲信越・東京ブロック会議

令和6年10月19日（土）開催

群馬県医師会

令和6年度 女性医師支援・ドクターバンク連携
関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について

ドクターバンクは群馬県が運営

群馬県
ドクターバンク

「働きたい気持ち」
応援します。

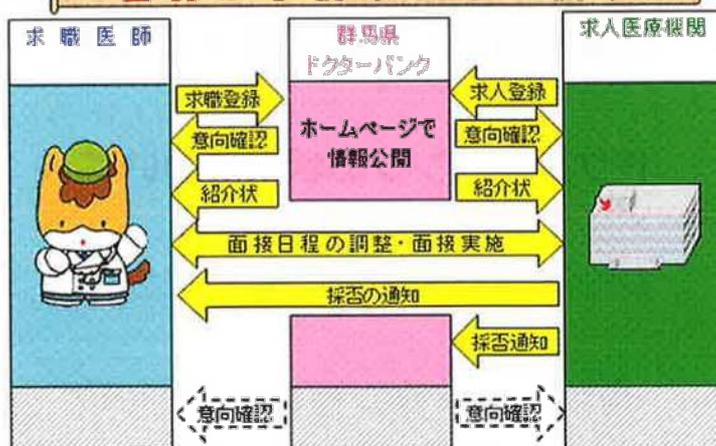


群馬県 Dr.BANK
ドクターバンク

- ・平成19年に運用開始
 - ・登録医療機関149施設（求人件数229件）
 - ・登録医師44名
- (R6.8.7現在)

登録から就業までの流れ

登録から就業までの流れ



★採用の場合は、求職登録を取り消します。
★不採用の場合は、「意向確認」に戻ります。

ドクターバンク斡旋成立実績

年度	人数	年度	人数
平成19年度	7	平成28年度	1
平成20年度	4	平成29年度	1
平成21年度	3	平成30年度	0
平成22年度	2	令和元年度	1
平成23年度	2	令和2年度	0
平成24年度	1	令和3年度	0
平成25年度	3	令和4年度	0
平成26年度	0	令和5年度	0
平成27年度	0	合計	25

斡旋成立者の診療科・性別・就業区分

診療科	人数	性別	人数
内科	11	男性	13
麻酔科	4	女性	12
泌尿器科	3	合計	25
小児科	2		
皮膚科	2		
精神科	2		
神経内科	1		
合計	25		

就業区分	人数
正規	16
非常勤	9
合計	25

ドクターバンクの運営状況

- ・年間の問い合わせは数件程度(過去5年間)
令和6年度・・・9件(8/1現在)

<PR方法>

- ・群馬県ホームページ
- ・e-doctorのサイトに掲載
(医師求人・医師募集・医師転職・医師求人
広告専門の就職・転職情報サイト)
- ・チラシ作成



ドクターバンクの充実・強化

<課題>

- ・医療機関と求職医師のマッチングに向けたフォロー体制の強化



<R6年度の新たな取組>

- ・医師と医療機関を仲介するドクターバンクコーディネーターを配置。
 - ・医師と医療機関の仲介支援のほか、事業のPR、医療機関からの情報収集を強化。
- 引き続き、本事業の一層の充実に向けて取り組む予定

(群馬県の見解・考え)

令和6年度 女性医師支援・ドクターバンク連携
関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について

群馬県医師会保育サポーターバンク

群馬県医師会では、保育サポーターバンク事業によって、子育て医師の離職を防ぎ、就業(キャリア)継続の支援をしていくことが、女性医師のキャリアアップ支援にもつながっていくと考えております。

群馬県医師会保育サポーターバンクとは

- ① 子育て医師が仕事と家庭を両立するための支援
- ② 子育て医師に対して、保育支援相談員が、そのニーズに沿った保育サポーターの情報提供や紹介をして、就業継続を支援
- ③ 支援内容は……
 - 保育所・幼稚園や習い事への送迎
 - 自宅もしくはサポーター宅での預かり
 - 病気の時の預かり
 - 食事の支度や掃除などの家事支援 等



群馬県医師会保育サポーターバンクとは

財源

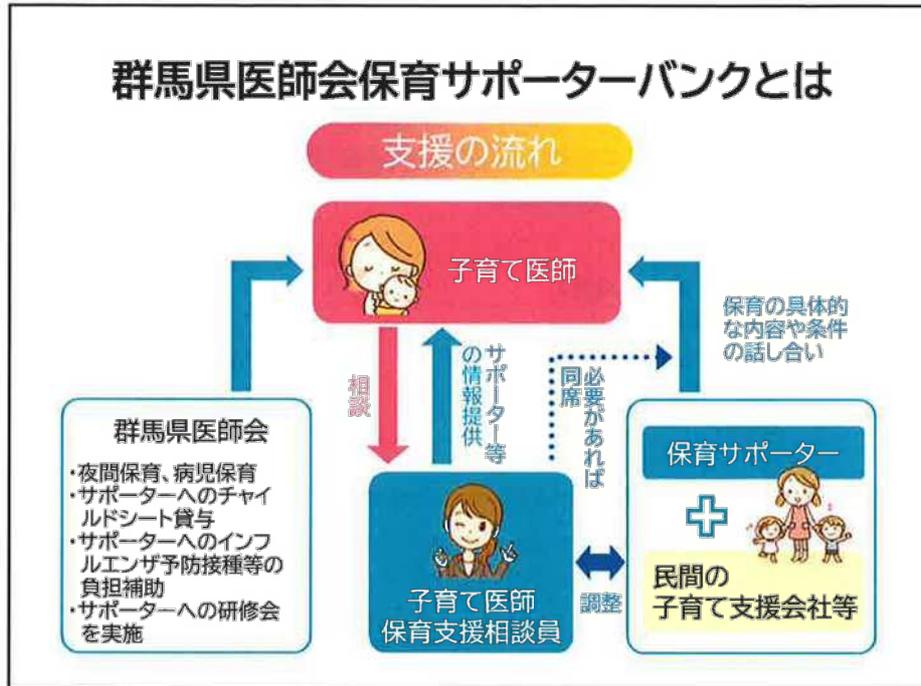
「地域医療介護総合確保基金」

…女性医師等就労環境整備・保育支援事業

年度	地域医療介護総合確保基金活用実績
平成28年度	1494.6万円
平成29年度	1276.1万円
平成30年度	1277.4万円
令和元年度	1271.1万円
令和2年度	1239.2万円
令和3年度	1275万円
令和4年度	1245.9万円
令和5年度	1366.4万円

(平成27年度までは「地域医療再生基金」も活用)

群馬県医師会保育サポーターバンクとは



群馬県医師会保育サポーターバンクとは ～助成制度～

・子育て支援助成制度

利用医師に対し、県医師会から利用料金の一部を助成します

利用時間帯等	補助単価等
平時（7時～19時）	300円×時間数
時間外及び病児・病後児（平時）	500円×時間数
病児・病後児（時間外）	700円×時間数
お泊り	2,000円×日数

- ・チャイルドシート・ジュニアシートの貸与制度
 - ・インフルエンザ予防接種料金の助成制度
 - ・タクシー料金の助成制度
- 保育サポーターに対しての助成になります

群馬県医師会保育サポーターバンクとは ～サポーターへの報酬基準～

次表のモデル単価を参考に、医師と保育サポーターが相互合意のうえで時間単価を決めます

支援活動時間帯等	1時間単価
平時（7時～19時）	1,100円
上記時間外	1,300円
時間外及び病児・病後児（平時）	1,300円
病児・病後児（時間外）	1,500円
お泊り	10,000円

※土曜・日曜・祝日も同額

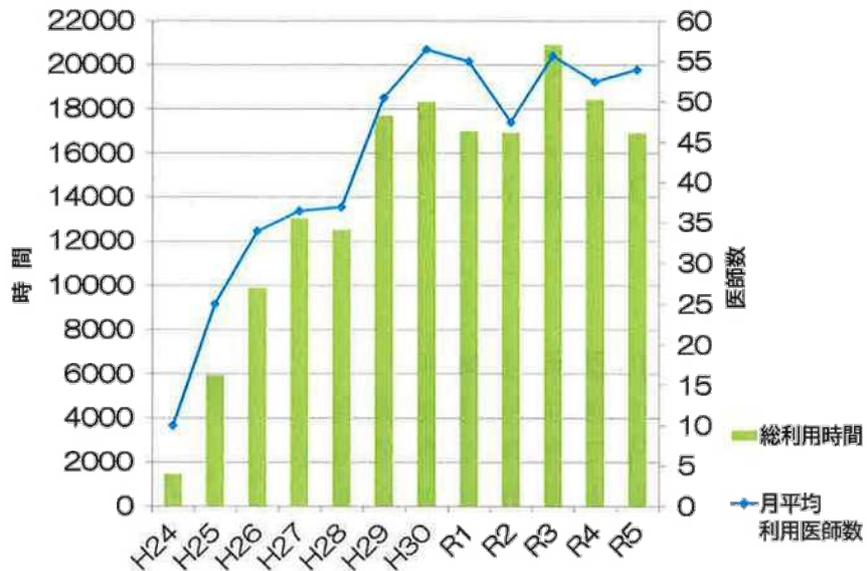
※当日キャンセルの場合は、1時間単価の半額を負担

- ・支援活動時間は、保育サポーターが支援をするために自宅を出た時間から、支援を終えて自宅に戻るまでの時間を指す
- ・複数の子どもを同時に預ける場合、二人目からは、一時間単価の半額
⇒(平時・時間外双方とも)病児・病後児保育は除く

保育サポーターバンクの実績

年度	月平均 利用医師数	平時 利用時間	時間外 利用時間	平時病児 利用時間	時間外病児 利用時間	総利用時間	
H24	10	918.5	307	209.5	3.5	1438.5	5月設立
H25	25	4623.5	923.5	366	11.5	5924.5	
H26	34	7892	1255.5	724	6	9877.5	
H27	36.5	10970	1440.5	596	8	13014.5	
H28	37	10647.5	1554.5	305	2.5	12509.5	
H29	50.5	15319	2001.5	347.5	7.5	17675.5	
H30	56	15244.5	2397	644	25.5	18311	
R1	55	14325.5	2250.5	390.5	9.5	16976	
R2	47.5	14746.5	2105.5	61	0	16913	
R3	55.7	17553	2938.5	413.5	1	20906	
R4	52.5	16293.5	1982	132.5	4.5	18412.5	設立10年
R5	54	14442	2146	312.5	1.5	16902	

保育サポーターバンクの実績



保育サポーターバンクの現状と課題

登録状況(令和6年9月20日現在)

登録医師数 **264**名 登録サポーター数 **273**名

令和6年8月の利用実績

利用医師数 **51**名 利用子ども数 **81**名

今後の課題・取組

サポーターの高齢化により、利用希望医師とのコーディネートに苦慮している。地域情報紙やラジオ、県の広報誌での募集を行っているが、定着に繋がらず、引き続きサポーター集めが課題である。

医師のための子育て応援ブックについて

群馬県医師会女性医師支援委員会では、子育て世代やこれから子育てをする世代への一助となるよう、「医師のための子育て応援ブック」を作成した。
(令和5年10月発行)

掲載内容

- ・群馬県の子育て医師支援体制
- ・ロールモデル(女性医師6名、男性医師2名)
- ・県内病院の子育て勤務中に関する制度や院内保育等の施設情報(県内60病院)



令和6年度 女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

ドクターバンクの状況について

女性医師支援の取組状況について

復職・再研修支援体制について

群馬大学医学部附属病院の取り組み



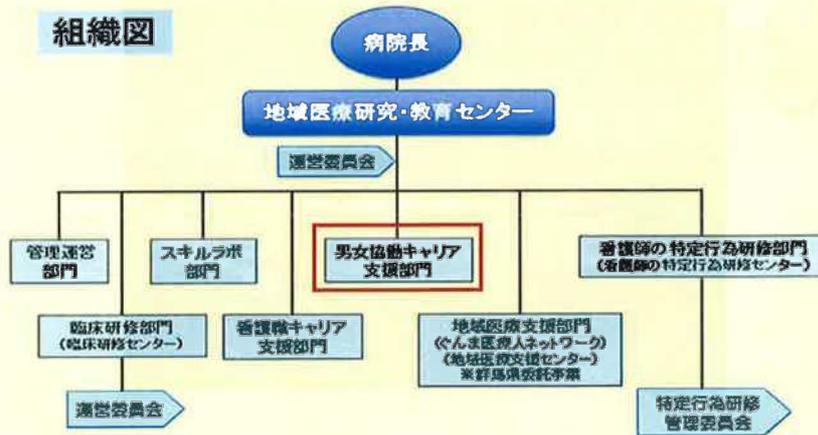
群馬大学医学部附属病院の取り組み

・群馬大学医学部附属病院 地域医療研究・
教育センター内の、**男女協働キャリア支援部門**
では、男女を問わず、充実したキャリアを目指
す医療者の現場復帰を支援している。

地域医療研究・教育センターについて

地域医療研究・教育センター

組織図



男女協働キャリア支援部門の活動

- 研 修** スキルアップのための研修活動をサポート
- 教 育** スキルラボ部門との連携によるシミュレータ教育・e-learning
- 支 援** 医師・メディカルスタッフの復職支援
- その他** 男女ともに働きやすい職場のための意識改革等



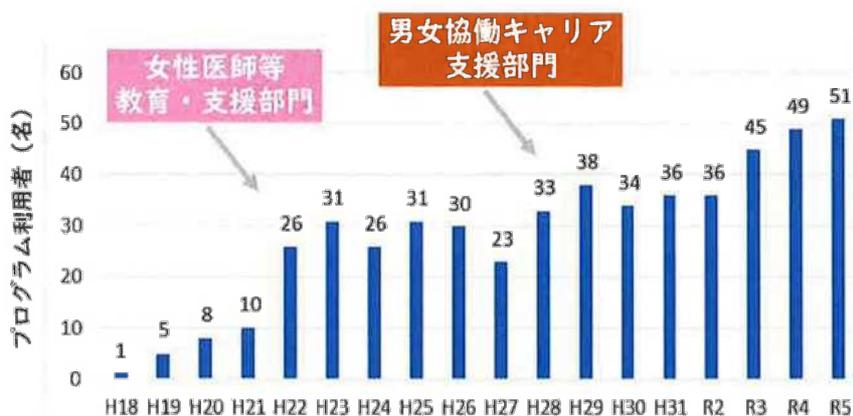
短時間勤務から無理なく復職



各自の意向に沿った支援

- ・ 通常業務に復帰するまでの再教育支援
- ・ 継続的な高度医療の知識・技術の習得

支援プログラム利用実績 ～男女を問わず医師のワークライフを支援～



支援プログラム修了者は常勤医等として復職へ

支援プログラム修了者数

	令和5年度 (51名)	令和4年度 (49名)	令和3年度 (45名)	令和2年度 (36名)
計(名)	6	12	10	9
常勤医(名)	4	3	3	5
非常勤医(名)	1	1	1	2
その他(名)	1	8	6	2

- ・開設以来のべ150名を超える医師が本プログラムを活用し、修了者の半数以上が常勤医として復職している
- ・復職先は、群馬大学に限らず、県内各医療機関へ復職実績がある

男女協働キャリア支援部門 ～取り組みにあたっての課題・問題点～

- 医師によりキャリアに対する希望やご家族など支援体制も異なる
 - 所属診療科と連携し、個別に丁寧な対応が必要。
 - 働き方や専門医取得に関する希望についてのアンケートを行い、新規プログラム利用者に対して、個別面談を実施している。
- 医師夫婦も多く、復職後も女性側に育児や家事の負担が多い
 - 育休を取得する男性医師もいるが、まだごく少数である。
 - 男性医師の育休期間は1週間から1ヵ月程度と短期間であり、積極的に制度を利用する診療科も限定されている。

(男女協働キャリア支援部門担当者の見解)

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや負担に応じて病院保育所に補助金が支給される

月謝を一定額に抑えることや、各病院の負担を軽減して保育所運営を継続してもらうことで、女性医師等が産休明けに安心して復職できる環境を創出している

病院内保育所運営費補助金事業

群馬県庁での事業

当初は看護師の復職と定着を目的として始まり、平成14年からは、医師などの職種にも適応となった

看護師や医師の子どもが保育所を使う場合に、子どもの人数や保育士の人数、病児の預かりや負担に応じて病院保育所に補助金が支給される

令和5年度の交付実績
32施設 6,686万円